2026年11月13日の練習

暑い夏を超え、すっかり涼しくなった11月。久しぶりに練習を行いました。床のライン上に張った目印ならぬ手印？となる紐を養生テープで貼り付け、運び込んだゴールを設置。ここからようやく練習を開始することができます。この日の練習は全部で10人。ジャッジをしてくれる小村さんを除いて3チームに分かれました。久しぶり…なので、最初は怖くないように鈴入りの小さなゴムボールを使って試合形式の練習をしました。ただ、このゴムボール鈴の音が聞き取りにくい上に、よく弾みます。市岡先生が注意点として、「あのぉ、このボール弾みやすいんですけど、あんまり弾むと止められないんでぇ、**できるだけ弾まないように投げてください**」と言ったにもかかわらず、いつものボールと同じ感覚で投げてしまう人がいました。市岡先生です。あなた、自分の言った事こんな短時間で忘れたんですか!?と言いたくなるぐらいボールが弾んでいました。その後は普通のボールで試合をしました。硬いし重いし当たると痛い（こともある）けれど、慣れた鈴の音がやっぱり聞き取りやすいなと思いました。

市岡先生の検証画像



構えからしてもうおかしい



最初のバウンドで
間違い確定





ゴール決まる

大丈夫、和波先生。
あなたは悪くない。

内藤Dr.は羽を手に入れた



さて、我々スサノオアイズの男子メンバーの間で「羽」と呼ばれるものがあります。それは、男性の急所をボールの直撃から守るもの。それを付けているとボールを止めるために思い切り飛べるのです。故に「羽」。この日「羽」を手に入れて練習に参加した内藤先生はとても嬉しそうでした。ガンガン飛んで下さいね !!

海津